

## 第2回小山田歴史講演会

# 鎌井松石の人と業績

日時 11月6日(金) 14時～16時  
場所 小山田地区市民センター  
2階 大会議室  
講師 四日市市博物館  
学芸員 廣瀬 毅氏

### ・ 講演内容 ・

#### I. 北伊勢の本草学の歩み

- ・ 四日市発祥の漢方薬が多い。
- ・ 北伊勢は本草学が進んでいた。
- ・ 明治になり洋学が入り変化。

#### II. 鎌井松石の人となり

- ・ 漢画名家として著明。
- ・ 本草学者として全国の博物学者との交流（交友会）など
- ・ 小山田地区での医業、教育活動

#### III. 役職および著書

- ・ 埃国博覧会県管下諸物品取集御用取扱
- ・ 管内地誌取調巡回、
- ・ 上等御雇（租税課勧業掛）
- ・ 内国勧業博覧会御用掛 など
- ・ 「本草正譌」32冊（文部省 献納本）
- ・ 「三重管内博物誌」16冊（文部省 献納本）
- ・ 「三重本草稿」45巻 「三重古事記稿」6巻
- ・ 「三重本草附録」21冊
- ・ 「三重本草博物地誌」 50冊

（上記4点は四日市市博物館へ寄贈）



講演会場スナップ



三重本草稿のmamシグサ



鵜森神社の俵藤太の兜

## IV. 講演会の感想

廣瀬先生の分り易いお話と、40数名の熱心な参加者により、充実した1時間半の講演を無事終了した。

松石の書籍には、体裁に拘らず空白あれば、メモ書きや動植物の絵図がびっしりと書き込まれていることから、思いのままに自然の中に入り、観察し絵を描く生活を送っていたことが分かり、我々高齢者も改めて人生を見直す刺激になった。

質疑の中では、ご子息の留之助の話や、西山町への移住逸話など紹介され、楽しいひと時であった。



目次の頁に セミの殻やミカンの絵がある。